出演者プロフィール

第９回　アジア音楽祭　　大阪から神戸そしてアジアへ

★サンガム　インドミュージックグループ
（代表：S. K. タゴール）

1980 年、第 1 回アジア音楽祭に出演以降、今回まで連続出演。タゴールソング（アジア初のノーベル文学賞受賞者ラビンドラナート・タゴールが創った曲）を中心にベンガル語、ヒンディー語でうたう。
‘02 年インド公演、‘03 年ドイツ公演参加等積極的国際交流も行い、インド音楽の深遠さ、詩の美しさを広めている。

★伍　芳（ウー・ファン／中国古箏演奏家・作曲家）

中国・上海生まれ。9歳より古箏を始め、90 年上海音楽学校を首席で卒業後、日本にいる姉の伍鳴（ウー・ミン）を頼って来日。阪神淡路大震災で姉が他界。96 年に東芝EMIよりデビュー。多数のテレビラジオ番組に出演の他、数々のアーティストとの共演、意欲的な演奏活動を行っている。2015 年 1 月 14 日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。2015 年 4 月 15 日に通算 11 枚目のアルバム「My Favorite Movies」を発売。同年 10 月神戸市文化奨励賞を受賞。

★柳田紀美子＆チャンドリカ（オリッシィダンス）

奈良女子大学文学部教育学科卒業。身体表現学を修める。
1988 年～デリー、1993 ～ 95 年オリッサ州に滞在し、S.C. スワイン師指導のもと舞踊訓練を修める。伊勢神宮、国立民族学博物館での舞踊活動の他、2005 年～11 年、母校大学にて非常勤講師を務める。毎年渡印を重ね、より深くみずみずしい舞踊表現について、なお研鑽を積んでいる。
舞踊グループ“チャンドリカ（月の光）”主宰。

★サンガル　ブダカ
（在日インドネシア留学生協会神戸支部）

インドネシアのさまざまな伝統音楽やアンクルン（竹楽器）の演奏などを多くの方々に紹介している。関西インドネシア人留学生の皆さんが舞踊を披露。美しい民族衣装（女性たち）も楽しめる。組織は1953年に創立。サマン舞踊はインドネシア　アチェ州ガヨ族の舞踊。特別な行事がある時に公演披露されるもの。

★スーホの白い馬（馬頭琴・ホーミー）

３人の内モンゴル出身の馬頭琴演奏家による「第９回　アジア音楽祭」のため結成。
バトムンコ氏は内モンゴル馬頭琴コンクール１位。
北京オリンピック開会式セレモニー出演。
ヒーモリテ氏は、中国中央テレビに出演。2014 年、CD「Green Mongolia」発売。
ボラグ氏は、一昨年の第 8 回アジア音楽祭にも出演。

★遊合芸能　親舊達チングドゥル（代表　パクウォン）

在日コリアンと日本人で結成したコラボレーションユニット。チングドゥルの作品は基本的に打楽、舞、歌の３要素を軸に構成。各メンバーが習得した伝統芸能、技量をぶつけ合う事で生まれる唯一無二のチングドゥルワールドを繰り広げる。
日本、コリアの芸能の持ち味を生かしつつ、その中にある違い・類似点を見直し、再び融合（遊合）する事で新たな伝統への道を生み出そうとしている。神戸・新長田を拠点に活動。

お陰さまで活動 35 周年　皆さまのあたたかいご支援に感謝いたします。

アジア図書館づくりの成功のために多くの方々の新たなご支援を必要としています!!
本と人と文化でまちおこし！　多文化共生のくにづくりを、21 世紀はアジアの時代！

●活動について、詳しくはホームページを、お問い合わせは電話またはＥメールでよろしくお願いします。

● 市民がつくる市民のためのアジア図書館 ●

1981 ～ 2015 年ボランティア活動パネル写真展を開催中

★アジア図書館・アジアセンターをつくろう賛助会員（サポーター）募集中！

★アジア図書館建設基金募集中！
（土地・施設・資金）
★詳しくはお問合わせください。

★アジア語学教室冬期生募集中！
※アジア 20ヵ国語、60 クラス詳細お問合せ下さい。

★本の寄付受付中！
ただいまアジア図書館蔵書 50 万冊。全国から良書応援！
※古本・新刊詳しくはお問合わせ下さい。

✾ アジア図書館に行けばアジアが読める、世界がわかる ✾

一般財団法人　アジア図書館・アジアセンターをつくる会（アジアセンター 21）
〒533－0032　大阪市東淀川区淡路５－２－17　TEL 06 (6321) 1839　　FAX 06 (6323) 1126
http://www.asian-library-osaka.org